

大分ライフセービングクラブパトロール隊（大分県）

【団体の概要】

2002年に救命、スポーツ、教育、福祉、環境、別府湾沿岸の安全安心、快適な海作りをコンセプトに、任意団体として結成しました。同年から、田ノ浦ビーチの夏季シーズン中の監視、救助業務を行っています。

2013年には、大分ライフセービングクラブパトロール隊として、正式に登録しました。今は、NPO法人として活動しております。メンバーは、男性20名、女性9名、平均年齢は28歳と、比較的若い世代が活躍しています。職業はプロのライフセーバー、フリーライター、レポーター、会社員、学生と多様です。

【コンセプト】

1つ目は、顔の見える防犯です。児童や教職員、地域住民とコミュニケーションを図ることで、信頼関係が構築され、地域に根差した活動ができると考えています。

2つ目は、見せる防犯です。青パトによる巡回と目立つユニフォームの着用により未然防止が期待できると考えています。ライフセーバーのユニフォームは、黄色のTシャツに赤色のパンツで大変派手です。この格好のまま防犯パトロールをすることによって、見せる防犯を意識しています。

3つ目は、つながりつなぐ防犯です。学校のイベントや地域の行事に積極的に参加し、交流を図ることで、他のパトロール隊等との連携を深めています。横のつながりを作ると同時に、我々の活動を次世代にどうつないでいくかということも意識しています。

【活動の展開】

大分ジュニアライフセービングクラブの子供達を対象に、一次救命処置の訓練やウミガメの保護活動等、命の教育を通じて、青少年の健全育成に取り組んでいます。

また、田ノ浦ビーチを中心に、県内のビーチを回り、海岸清掃に取り組むことで、安全安心な町づくりの推進を行っています。

特に力を入れているのは、次世代への継承です。私達は、既存の大分ジュニアライフセービングクラブのメンバーの子達に、ライフセービングの活動だけではなく、防犯教育にも取り組み、段階的に次世代につないでいく取り組みを行っています。



安心・安全な街づくり

田ノ浦ビーチを中心に幸崎海岸、別府市餅ヶ浜、佐伯市間越海岸等県内の海岸清掃活動を通して犯罪のない街づくりを目指す。



OITA LIFESAVING CLUB

活動展開

青少年の健全育成

ライフセービング教育や各種海洋教育を通して少年の非行防止等の青少年健全育成の援助活動を実施。



OITA LIFESAVING CLUB

【活動を持続させるための工夫】

1つ目は、無理なく可能な範囲で実施するという事です。各々が仕事や学問、家庭を持っているので、まずはそれらを第一に考え、自分達ができる範囲で取り組んでいこうということです。

2つ目は、活動内容の創意工夫です。防犯パトロールのみにとられるのではなく、環境美化、海の環境美化、ライフセービング教育等、多角的なアプローチができるようにしています。

3つ目は、人材確保です。母体であるNPO法人大分ライフセービングクラブの会員を対象に募集を募り、特にバトンタッチができる若い世代に声を掛けるようにし、隊員の確保をしております。

その他としては、設立当初から、毎月海岸清掃や各種ボランティア活動を行っているのですが、それらを通じて、行動力や責任感を隊員に醸成するよう心掛けています。

そもそも、ライフセービング活動もですが、防犯パトロールを始めたきっかけは、幼い頃、地域で防犯パトロールをしている方がたくさんいらっしゃったことです。そして、今は我々の世代になり、今度は我々が守っていかねばならないという思いがあります。

私達の活動は、地域の皆さんの協力のもとにできていますので、地域の皆さんに対する感謝の気持ちを育むようにも心掛けております。

協働

警察を始めとした関係機関、自治会との連携を深め協働による安全・安心なまちづくりを推進する。



OITA LIFESAIVING CLUB

特色を活かした活動

神崎地区公民館の行事の一環として水辺の安全教育を実施。



OITA LIFESAIVING CLUB

活動を持続させるために ①

☆無理なく可能な範囲で実施

各々が、「仕事や学問、家庭を第一に考え、可能な範囲での活動に徹する。」というルールを守る。

☆活動内容の創意工夫

次世代を育成し活動を繋げるために、人命救助や環境美化、防犯活動をバランスよく行い、1つの活動に偏らないように工夫している。

OITA LIFESAIVING CLUB

活動を持続させるために ②

☆人材確保

母体である大分ライフセービングクラブの新規会員(ライフセーバー)へ隊員の希望を募る。今年度3名加入。

☆自主性と行動力の醸成

設立当初から毎月の海岸清掃や各種ボランティア活動を行ってきたことで、隊員に自然と自主性と行動力、責任感等が培われているのではないかと考える。

☆地元への貢献

ライフセービング活動を行えるのも地元の理解と協力のおかげ。少しでも地元へ貢献したいという思い。

OITA LIFESAIVING CLUB